

分科会 6 誕生、スポーツファーマシスト ードーピング防止活動に薬剤師職能を活かそうー

W-06-04

新潟県薬剤師会のドーピング防止活動 ～トキめき新潟国体における活動報告から～

まつしま くにあき
松島 邦明

(社)新潟県薬剤師会 常務理事

((社)新潟県薬剤師会アンチ・ドーピング委員会 委員長)

平成 21 年に行われたトキめき新潟国体においてうっかりドーピングを防ぐために、新潟県薬剤師会では早くから先催県への視察を重ねたり、薬剤師のドーピング防止に関する知識向上を図ると共に、各関係団体と連携し、以下の活動を行った。

1. ドーピング相談応需
2. 薬剤師のためのドーピング防止ガイドブックの配布
3. 公認スポーツファーマシストの推進
4. 研修会の開催
5. 各支部の夜間休日急患センターの医薬品調査に対する協力
6. 県体協との連携によるドーピング防止活動（研修会の共催、啓発ポスターの作成、各競技団体研修会への講師派遣、選手・監督・コーチのドーピング意識アンケート、啓発パンフレット作成への協力、スポーツドクターとの連携によるドーピング防止活動）
7. 県国体局との連携によるドーピング防止活動（救護所の医薬品の調査、宿泊施設への啓発）
8. 会誌、FAX・メールでの情報提供

なかでも特記すべき活動は、県体協との強い連携によるドーピング防止活動を早い段階から進めたことである。競技関係者と薬剤師の合同研修会の開催から始まって、ポスター作成、国体前の各競技団体研修会への講師派遣、研修会に参加した選手、監督・コーチへのアンケートの実施など、より選手に近づいた活動を実施することができた。アンケートを行ってみて、選手、監督等は、競技会（国体）直前でも、ドーピング防止に関心がなかったり、正確な情報を持っていなかったりする事例が多いことに気づいた。

先催県同様に、当会でも、「トキめき新潟国体・新潟大会ホットラインサービス」を設け、FAX 等による相談に応じた。更に、国体期間中は、24 時間電話相談応需のため、平日 18 時～翌朝 9 時と休日は、新潟県薬剤師会アンチ・ドーピング委員会委員 5 名、薬事情報センター職員 2 名の計 7 名で、専用電話を臨時に設けた携帯電話に転送して対応した。相談状況は、2009 年 4～10 月のドーピング関連の相談件数は、146 件、310 品目で、そのうち 24 時間対応の相談件数は県内、県外合わせて 31 件、47 品目であった。その中では特にコーチの方からの質問が多く、OTC の問い合わせが目立っていた。また、国体会場の救護所の医薬品の事前調査を行ったことで、禁止物質を含む医薬品があった救護所があることがわかり、適切に対応するよう指導できた。薬剤師の知識向上のため、平成 18 年より研修会を開催し、特に平成 21 年は、各支部でも活発に研修会を実施した。会員へは、薬剤師のためのドーピング防止ガイドブックを配布し、また会報誌等を通じてドーピング防止に関する関心と理解を高めるよう努力した。そのうえ、公認スポーツファーマシスト制度の開始と新潟県での国体開催がちょうど重なったこともあり、機運が高まって会員のスポーツファーマシスト資格取得への意欲の面でもかなりの効果があったのか、140 名もの基礎講習会受講者となった。国体終了後発表されたドーピング検査結果は、競技会検査 159 件、競技会外検査 50 件 計 209 件 すべて陰性だった。この結果は、県体協や新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターをはじめ、新潟県アンチ・ドーピング委員会、医師会、スポーツドクター協会、歯科医師会、看護協会、体育協会、競技団体と連携を築き、薬剤師だけではできない多岐にわたるドーピング防止活動ができたことも、大きく関わっていると考えられる。競技関係者等はどこにいったらドーピングの相談ができるか？一人ひとりの薬剤師はどのようにしたら競技関係者等にもっと近づいた活躍ができるのか？まだまだ選手の認識は不十分であり、薬剤師もその役割にできていない。これまでの活動を通して、スポーツの現場では、薬剤師のサポートが大いに必要とされており、更なる薬剤師の活動が期待されている実態が浮かびあがった。今後の課題は、国体で生まれた本県でのスポーツと薬剤師の関わりを更に深め、広く根付かせることである。解決の方策のひとつは、スポーツファーマシスト制度をこれまで以上に一般の方にも広報することであり、スポーツファーマシストを中心に、薬局薬剤師も病院薬剤師も薬剤師全体でドーピング防止や健康管理に関する知識のレベルアップを図るよう努力していくことではないだろうか。日薬や JADA 等と連携し、薬剤師にドーピング防止に関する情報提供することだけでなく、スポーツファーマシストの活動に関する土台づくりや、学校でも啓発活動を広げられるような方策などを検討していきたい。